

5年生保護者の皆様

丹波篠山市立岡野小学校 校長 山本 真

5年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。

〈国語〉

○成果……我が国の言語文化に関する事項、読む力
「読むこと」や「書くこと」の正答率は目標値を上回りました。また、活用力についても目標値を大きく上回っており、一定の成果が出ていると考えられます。
●課題……連帯修飾語の理解、中心となる語を見つけて要約する力
目標値との差が特に大きかったのは「連体修飾語」に関する問題でした。これは「どの言葉がどの語を修飾しているか」という文構造の理解を問う内容です。また、「中心となる語を見つけて要約する」問題においても課題が見られました。文章を整理・要約する際に欠かせない「中心となる語を捉える力」が十分に定着していないことが分かります。
☆課題克服に向けて取り組んでいきたいこと
課題克服に向け、言葉の学習では、視覚的な図を用いて言葉の修飾関係や文構造を捉えさせるとともに、空欄に修飾語を入れる練習を重ねます。また、説明文の読解では、段落と情報を対応させて内容を整理させ、中心となる語を抜き出して付箋などで再構成する学習を取り入れます。これらの工夫を通して、正確に文構造を理解する力と、重要語を押さえて文章を要約する力の定着を図ります。

〈算数〉

○成果……「思考力・判断力・表現力」の向上
観点別では「思考・判断・表現」が目標値を上回りました。また、出題タイプ別の「活用」や、領域別の「データの活用」においても目標値を上回る結果となり、思考力を要する活用問題やデータの活用領域において良好な定着が見られました。
●課題……わり算・計算のきまり、平行四辺形の作図
課題が見られた小問は2点あります。「わり算・計算のきまり」では目標値を大きく下回り、かっこや四則が混ざった式の計算順序を正しく理解し活用する力に課題が見られます。また、「いろいろな形」でも目標値にとどまらず、平行四辺形の持つ性質（対辺の平行や等しい長さ）を捉え、その根拠に基づいて正確に作図する力に課題があることが分かりました。
☆課題克服に向けて取り組んでいきたいこと
課題克服に向け、「計算のきまり」では、かっこや四則混合の式における計算順序の約束を理解し、立式や計算に正しく活用できるように指導します。また、「いろいろな形」では、対辺が平行であることや長さが等しいといった平行四辺形の性質を正しく捉え、どの性質を用いるのか根拠をもって作図できるよう指導します。これらの手だてを通して、計算のきまりの定着と図形の性質を踏まえた作図力の向上を図ります。

【保護者の皆様へのお願い】

学力テストでは思考力の高まりが見られた一方、国語の文構成・要約や、算数の計算順序・作図等に課題が見られました。ご家庭でも以下のご協力をお願いいたします。国語:音読後に「一番伝えたい大切な言葉は何か?」と問いかける。算数:かっこや四則の計算順序を意識・確認しながら解かせる。 学校と家庭で連携し、基礎・基本の確実な定着を目指してまいります。ご協力をお願いいたします。
--

